

名古屋大学 大学院 創薬科学研究科 主催 

第57回 創薬科学セミナー

PS-ITbM-RCMS seminar

日時：2017年5月17日(水曜日) 13:00～14:30

場所：野依記念物質科学研究館2階 講演室

先端薬科学特論：単位認定講義

講演タイトル：

『有機パラジウム化学とともに半世紀』

講師：辻二郎 先生
東京工業大学 栄誉教授



辻二郎先生は「パラジウム触媒を用いた有機合成反応」の先駆者です。京都大学理学部をご卒業後、東レ基礎研究所に就職され、そこで世界ではじめて有機パラジウム化合物を用いて炭素-炭素結合形成に成功しました。東レ時代、東京工業大学教授時代に、カルボパラデーション、Tsuji-Trostアリル化、カルボニル化・脱カルボニル化、Tsuji-Wacker酸化反応、Geuther-Wislicenus反応、メタセシス反応、等々、辻先生の発見した反応は限りなく、多くの原点を作り出しています。我が国が世界に誇る大研究者です。是非、ご聴講いただき、パラジウム化学の半世紀をお楽しみください。

連絡先：

創薬科学研究科 北村雅人 (kitamura@ps.nagoya-u.ac.jp)

物質科学国際研究センター 田中慎二 (tanaka@os.rcms.nagoya-u.ac.jp)

名古屋大学大学院 創薬科学研究科 基盤創薬学専攻
Department of Basic Medicinal Sciences, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya University